



11.23 1万人県民大集会(那覇市) 主催:沖縄を再び戦場にさせない県民の会



No. 594

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

2万人同盟へ 若い世代への働きかけを 全国で新支部結成の大きなうねりを!



吉田会長は、戦後、植民地の独立や構造的変化が進み、グローバルサウスの存在が不可欠となつた。市民社会の成長や人権尊重、気候危機対策が進展し、これらの運動が国際政治に影響を与えていた。核兵器禁止条約の発効はその象徴。しかし、現在のロシアのウクライナ侵攻やイスラエルによる住民虐殺は逆行。欧米列強が植民地支配の形を変え、現在の世界にあります。(2ページにつづく)

中央常任理事会開く

11月24日、同盟中央常任理事會が開かれ、吉田万三会長のあいさつ、田中幹夫事務局長の報告・提案・財政報告をうけて、15人が発言、最後に田中事務局長がまとめをしました。

吉田会長は、戦後、植民地の

が必要である。と述べました。

田中事務局長は、世界情勢としてロシアのウクライナ侵攻に起こしている。国内では、岸田政権に対する批判が根強く、不支持率が上昇。政府の経済対策や政策の信頼性が低下しています。総理の「適材適所」方針が崩れています。(2ページにつづく)

張を引き起こしている。

日本は積極的な役割を果たさず、岸田政権は大軍拡や増税に突き進み、アメリカのしもべとして危険な役割を果たしている。

同盟は国民的闘いに参加し、国賠同盟として役割を果たす必要がある。岸田政権の急速な軍事国家化に対抗する共同の闘いも重要。若い世代への働きかけ

● 私も一言／前田則子

● 同盟回顧／国内外の動き

● 抵抗の群像／近内金光

● 同盟文芸／短歌・俳句・川柳

● 中央常任理事会開く

7

6

4

3

1

主な記事

(1ページからつづく)

米国主導のロシア、中国などの対応で大規模な軍事費増加が計画されており、これに対して国民は懸念を抱いています。

この情勢のもと同盟は、各地域で署名活動、昨年7月の大会後、277人の会員拡大し、9支部が結成された。さらに国内外の情勢に対応した具体的な取り組みを進めました。また、映画「千代子」の上映回数が増え、会員拡大や支部建設に寄与している。映画のテーマ性を活かした世代交代や青年部結成の計画も進めよう。

国際部活動の検討として、コロナの感染拡大で国際交流が中断されましたが、今後の時期を見て再開を検討していきたい。『治安維持法と現代』誌の取り組み、23年秋季号と次号に向けた執筆計画や発行部数の拡大目標が提示され、同盟内での討論や購読者管理的重要性を強調しました。財政活動と会費の重要性について、会費は同盟の活動を支える基本、会費の徴収は必須の活動であり、継続的な財政活動の必要性を強調したい、

と提起しました。

◎中央常任理事会での発言

埼玉・大野辰男さん

北海道・本間昭一さん

滋賀・西田清さん

伊藤千代子の映画上映と支部建設

東京・中嶋育雄さん

兵庫・勝部志郎さん

徳島・高原久美さん

沖縄・村山純さん

滋賀・西田清さん

神奈川・山崎雅子

神奈川県本部の現状について。

神奈川・小沢睦夫さん

新しい体制を確立してスタート。

澤田勝雄『治安維持法と現代』編

集長

同誌の普及・活用について。

大阪・甲斐富貴雄さん

署名活動の前進でがんばりたい。

◎田中事務局長のまとめ

特別決議「パレスチナ人の虐殺止めろ」を採択しました。この情勢にふさわしい宣伝を強めて同盟

をアピールしましょう。

支部づくりが重要で、支部があると、会員が元気になり、発展することがそれがそれぞれ報告されました。また地方議員への呼びかけることが必要なことも出されました。

支部づくり、仲間づくりでは『治安維持法と現代』を活用しての学習が大事です。知恵を出し合つて、たたかいの戦線を広げていくことが求められています。

来年6月の第41回全国大会に向けて運動を大きく広げていきましたよ。

木車

市井の人々の哀歎

に寄り添った作品で

知られる井伏鱒二展

が神奈川近代文学館

で開かれたもので、生涯と

作品に加えて、幅広い文士などと

の交友録、書簡などを展示▼初期

はナンセンス文学の書き手とも目

されたが、郷里を舞台とした『丹

下氏邸』が高く評価され、徐々に

文壇から認められていく。『ドリ

トル先生』シリーズや『黒い雨』

などを発表。作品の多彩さに驚い

た▼原爆による悲劇の実相を描いた『黒い雨』は世界各地で翻訳さ

れ、高い評価を得た。被爆者や医

師の手記をもとにしたほか、多く

の人びとを取材。事実を描くこと

に重点を置いた。「戦争反対の気

持ちも含めて描いた」と▼陸軍報

道班員として派遣されたときは、

占領地・シンガポール（昭南）を

舞台としながら、直接戦争は新聞

には描かず、現地の人びとの異文

化交流の実態などを、ユーモアも

交え描いた。この姿勢は「黒い雨」

でも貫かれていたと思えた。（鶴）

ブロッサム会



安維持法下の東北の闘い、その今
目的意義—『日本共産党の百年』
に学んで」との演題で行いました。

が法政大学の学生時代、
一九三二年の全国一斉の大弾圧で捕らえられ拷問

「も・一言

練習曲に「名も告げずに」と云う曲があり、初めて歌つた時、急に父を思い出して声が詰まつて歌えませんでした。
父、針谷武夫は治安維持法犠牲者です。父

父・弟の生き方受け継ぐ

前田 則子

弟、針谷宏一は、
父の生き方を尊敬

によって虐殺された岩田義道の労農葬の連絡で、靖国神社の横の細い一本道で男に声をかけられ「私服かな」と思つた時は手を掴まれが法政大学の学生時代、一九三二年の全国一斉の大弾圧で捕らえられ拷問

し、国賠同盟中央本部の副会長・事務局長もやつておりましたが一昨年急逝してしまいました。私は、この度の埼玉県での女性部再開の取り組みの中で治安維持法犠牲者の話をして友人三人が入会、これからも父や弟の生き方を受け継いでいこうと思つています。(同盟埼玉県本部・女性の会顧問)

東 北

11月12～13日、青森市浅虫温泉で東北ブロッサム交流会が開かれ、78人(初参加24人)が参加。

記念講演は、共産党中央委員会の学術文化委員会・宗教委員会責任者の土井洋彦書記局次長が「治

安維持法下の東北の闘い、その今
目的意義—『日本共産党の百年』
に学んで」との演題で行いました。

練習曲に「名も告げずに」と云う曲があり、初めて歌つた時、急に父を思い出して声が詰まつて歌えませんでした。
父、針谷武夫は治安維持法犠牲者です。父

いま楽しみにしている合唱団の
曲があり、初めて歌つた時、急に父を思い出しても声が詰まつて歌えませんでした。

練習曲に「名も告げずに」と云う曲があり、初めて歌つた時、急に父を思い出しても声が詰まつて歌えませんでした。
父、針谷武夫は治安維持法犠牲者です。父

森市浅虫温泉で東北ブロッサム交流会が開かれ、78人(初参加24人)が参加。

記念講演は、各県本部推薦の10人は10分間、「自由討論」(5分～6

分)には16人が参加しました。

記念講演は、各県本部推薦の10人は10分間、「自由討論」(5分～6

人)が討論に参加しました。討論は、各県本部推薦の10人は10分間、「自由討論」(5分～6

年ぶりに昔の仲間に会えて嬉しい」と思ったが、學習と仲間が出来て入会して良かった、「90歳だが署名130筆集めた。まだ大丈夫」、寄せました。

年ぶりに昔の仲間に会えて嬉しい」と思ったが、學習と仲間が出来て入会して良かった、「90歳だが署名130筆集めた。まだ大丈夫」、寄せました。

11月12～13日、青森市浅虫温泉で東北ブロッサム交流会が開かれ、78人(初参加24人)が参加。

記念講演は、各県本部推薦の10人は10分間、「自由討論」(5分～6

年ぶりに昔の仲間に会えて嬉しい」と思ったが、學習と仲間が出来て入会して良かった、「90歳だが署名130筆集めた。まだ大丈夫」、寄せました。

記念講演は、各県本部推薦の10人は10分間、「自由討論」(5分～6

九州沖縄 ブロッサム会

九州沖縄ブロッサム会交流会は10月22、23の両日、長崎市で開催され、長崎、熊本、宮崎、沖縄、福岡の5県から43人が参加しました。

吉田万三中央本部会長が「戦争と国賠同盟」と題して記念講演。

吉田会長は、ロシアのウクライナ侵略に加え、パレスチナ・ガザ地区でハマスとイスラエル軍の激しい戦闘が一般市民を犠牲にして繰り広げられていることを糾弾し、一刻も早い終結を訴えるとともに、それらを口実にした岸田自公政権の大軍拡、大増税政策を厳しく批判。そもそも軍事力では日本は守れないとASEANの経験にも学び、「紛争を戦争にしない」地域の平和の共同体づくりこそが求められていると強調。再び戦争と暗黒政治を許さないと活動してきた国賀同盟は、今こそ岸田政権の戦争へ一直線の政治、治安維持法体制復活の道を食い止める国民運動を巻き起こすため若者や国民と手を取り合って奮闘しようと呼びかけました。

(7ページにつづく)

同 盟 回 顧

2 0 2 3 年

国 内 外 の う ご き

1月9～10日	「不届」編集部学習会	5月25～26日	全国女性交流会会場下見
1月17日	全労連会館運営委員会	6月29日	会長・事務局会議
1月18日	安保破棄実行委員会幹事会	7月2日	滋賀県本部総会
1月22日	小林多喜二生誕120年・没後90年記念国際シンポジュウム	7月8～9日	日本国民救援会第61回全国大会
1月23日	「平和・いのち・くらし壊す戦争準備の大軍拡・大増税NO連絡会」結成総会	7月9日	大阪府本部大会
1月28日	千葉県犠牲者名簿出版記念講演会	7月14日	8・15ビラ検討会
2月5日	東京都本部「春をよぶ集い」	7月25日	全労連会館運営委員会
2月8日	兵庫県本部会長・事務局長と懇談	7月26日	安保破棄実行委員会内閣府要請
2月9日	日本母親大会実行委員会	7月27日	会長・事務局会議
2月11日	神奈川県増本一彦さんを偲ぶ集い	8月7日	日本母親大会実行委員会
同日	多喜二没後90年文	8月15日	北海道本部三役会
2月22日	学の集い 映画「千代子」字幕挿入試写会	8月15日	8・15池袋駅街頭宣伝
2月23日	多喜二没後90年築地祭	8月27日	民医連創立70周年記念集会
同日	宮沢・レーン事件	8月28日	静岡県本部総会
2月24日	小林多喜二麻布称名寺メモリアル	同日	愛知県本部大会
3月13日	プレート設置準備会	9月8～9日	会長・事務局会議
3月16日	3・18解放運動無名戦士合葬祭	9月9日	石川県本部総会
3月23日	三役会議、女性部会	9月10～11日	中国ブロック交流会
9月13日	会長・事務局会議	9月13日	神奈川県本部総会



1月5日	新型コロナ死者最多。一日当たり498人
1月24日	「学術会議法、改悪中止せよの策定中止」を求める賛同者が120人を超える。
2月8日	赤嶺政賢議員、沖縄の軍事要塞化を追求
2月6日	トルコでマグニチュード7・8の地震。死者2万人超え
2月27日	トマホーク購入400発
3月7日	フランスで年金改悪に反対し350万人がデモ
3月20日	袴田巣さん、再審無罪へ
3月28日	大軍拡推進予算が成立。敵基地攻撃能力保有など5年間で43兆円
4月3日	大企業製造業の景況感が5四半期連続悪化(日銀短観)
4月4日	フィンランドがNATO加盟。
4月11日	チリで週40時間労働法可決。残業上限も週12時間から5時間に
4月20日	学術会議法改悪案見送り
5月6日	英國、70年ぶりの戴冠式。反王政グループがパレードの沿道で「私の国王でない」と抗議
5月9日	入管法改悪案衆院通過
6月2日	マイナンバー法等改定を強行
6月6日	実質賃金が13カ月連続マイナス(厚生労働省4月の統計)

3月24日	中央常任理事会
4月5日	会長・事務局会議
4月17日	日本学術会議スタンディング
4月26日	国会請願への立憲・共産・れいわ・社民・沖縄の風各党へ挨拶要請
5月1日	中央マーチ
5月3日	2023年憲法大集会
5月5日	畠田重夫お別れ会
5月6日	国民平和大行進ス
5月13日	兵庫県同盟創立40周年記念集会
5月16日	国会請願
5月19日	会計監査
5月24日	全労連会館運営委員会
5月25日	第2次国会請願
5月27日	日本母親大会実行委員会
5月29日	映画「千代子」日本映画復興賞授賞式・全国交流会
6月6日	会長・事務局会議
6月7日	三役会議
6月19日	中央常任理事会
6月20日	埼玉県女性部準備会
6月29日	北信越ブロック交流会



9月13日	会長・事務局会議
9月20日	三役会議
9月21日	中央常任理事会
9月22日	勤労者レクリエーション協会60周年記念集会
9月23日	全労連会館運営委員会
9月25日	長野県上小支部総会
9月26日	近畿ブロック交流会
9月27日	北海道本部大会
9月29日	埼玉県本部女性の会再建
9月30日	全労連会館防災訓練
10月5日	9条の会大集会
10月9日	関東ブロック交流会
10月10日	九州・沖縄ブロック交流会
10月11日	臨時国会開会日行動
10月12日	北信越ブロック交流会
10月13日	東海ブロック交流会
10月19日	第32回全国女性交流集会
10月29日	第33回全国女性交流集会
10月30日	ク交流会
10月29日	第32回全国女性交流集会
10月30日	ク交流会
11月12日	東北ブロック交流会
11月13日	会長・事務局会議
11月23日	会長・事務局会議
11月24日	三役会議
11月25日	中央常任理事会
11月25日	会in山口



6月6日	ウクライナのダム爆破で洪水インボイス阻止全国で「一揆」
6月14日	国会正門前に1500人参加
6月21日	核禁条約参加へ署名130万人分、平和団体が外務省に提出
6月22日	食品値上げ3万品超
6月23日	日本の人口前年度比80万人減。人口減少に歯止めかからず
6月24日	22年度決算 余剰金1・3兆円
6月25日	原水爆禁止2023年世界大会始まる
6月26日	ウクライナ、子どもの犠牲者500人超え
6月27日	ウクライナ、第二次岸田再改造内閣が発足。米国・財界言いなり政治加速の布陣
6月28日	東電が汚染水の海洋放出を開始
6月29日	インボイス中止署名36万人分超を提出
6月30日	ワグネル創始者が墜落死
7月1日	辺野古軟弱地盤工事、沖縄県知事「承認困難」と回答
7月2日	イスラエル「戦争遂行内閣」樹立
7月3日	参院徳島・高知選挙区補選で野党共闘候補の広田一氏が当選
7月4日	ガザ住民「ジエノサイドの危機に直面」

抵抗の群像



3・15事件で実刑、弁護士資格剥奪に屈せず闘った

こんないかねみつ
近内金光

近内金光は、1928年の「3・15」事件で検挙、懲役6年の実刑判決をうけ、弁護士資格を剥奪され、40歳で早世した治安維持法弾圧下の弁護士である。

近内金光は、1898(明治31)

年1月1日、栃木県那須郡金田村(現大田原市)に生れ、二高に合格した後、1918年一高に合格して再入学した。この時、一高に進学したのは吉野源三郎、村山知義、戸坂潤などがある。一高では柔道部に入部、二段まで昇進した。1921(大正10)年3月卒業し、4月、京都帝国大学法学部仏法科に進学、社会主義思想にふれ関心を高める。25年12月に司法試験に合格、弁護士の途に進んだ。

兵庫県西宮に住み、小岩井淨とともに大阪で弁護士事務所を開設した。この間、21年7月、神戸の川崎・三菱両造船所の労働者が賃上げと労働組合公認を求めて起ちあがり

45日間の大争議に発展した。このたたかいに介入した官憲の弾圧に対する布施辰治弁護士はじめ多くの弁護士が救援に起ちあがり、それが契機となつて8月20日に自由法曹団が結成された。

近内は、26(大正15)年の野呂栄太郎、岩田義道、鈴木安蔵らの京都学連事件の弁護を行つた。

また創立間もない日本農民組合の争議部員、顧問弁護士となり、農民組合の法律相談はもとより、組合依頼の法廷闘争はじめ教育活動にも参加し、大阪、神戸から鳥取、島根、三重、徳島、淡路島などにまで足を延ばしてたたかい、農民の絶大な尊敬と信頼を受けた。

その弁護は「栃木弁まる出しであつたが、熱と力に充ち、いささかの虚飾もなく、冗ぜつなく、一言一句、相手方の肺腑をえぐる鋭さは、

裁判長や相手方弁護士を狼狽させずにはおかなかつた」(羽原正一著『農民解放の先駆者たち』)と

言われる。

こうした活動を経て、27年10月、冬野猛夫の薦めで日本共産党に入党した。

28年2月、第1回男子普通選挙が戦われた。治安維持法で非合法

下の日本共産党は、労働農民党と共に山本懸藏、徳田球一はじめ近内金光ら11人の党員を立候補させてたたかつた。総計40人の労農党共同候補の内30人が自由法曹団員であったという。

近内は、「労農党兵庫県攝陽支部長となり、28年2月の第1回普通選挙には労農党公認として兵庫2区から立候補、4907票を獲得したが落選した。このときの選挙干渉と弾圧ははげしく、近内の演説は中止、検束、解散の連続であつた。津名郡志筑公会堂(現淡路市)の演説会では、少しでも話ができるようによく、弁士を開会直前に天井から演壇につりおろして演説させたという」(上田誠吉・

『自由法曹団物語』)。

近内は、その直後の3・15治安維持法弾圧事件で日農本部常任の検挙の後を受けて中央常任委員となつたが自らも検挙され、完全黙秘でたたかい、春日庄次郎らの大

阪地裁3・15事件の被告の一人として、この年の9月8日結審、翌29年2月1日に実刑6年の懲役刑が確定し、高松刑務所に収監された。

近内は、受刑中に腸結核を発症、回復しなかつたため、33年12月仮釈放され、兵庫県武庫郡良元村字小林(現宝塚市)の家にもどつた。弁護士資格を剥奪されたため、女学校教師の夫人が生計を維持し、六甲山中腹の甲南病院で病気療養にあたつたが回復せず、「もう一度栃木のうまい水が飲みたい」という願いもかなわず38(昭和13)年9月6日、40年の生涯を閉じた。

この間、病院には、長いたかいの中での同志であつた守屋典郎や長尾有らがしばしば見舞つた。死の1週間前、守屋に「俺は今死ぬのは惜しくてしようがない」と語り、また長尾の手をにぎり「仇をとつてくれ」と遺言した。

(文責・藤田廣登)

(同盟中央本部顧問)

参考文献
自由法曹団編『自由法曹団物語』

戦前編
田中徹歩著『評伝・弁護士
内金光』日本評論社

同盟文芸

短歌

碓田のゆる選

望月たけし選

黒潮の海にどつかり坐り込む与那国イソバの灯を継ぐ女たち
ガザの子が十秒に一人殺されるされど岸田はただ無表情
ようやくに支部の土台は決まりたり十数年の歴史は重し
獅子舞を友ら舞いし神社には金のイチヨウ葉静かに光る
啄木の故郷なれば たわむれに 指おり数え歌よんでもみる
八十路の友らと最後のクラス会紅葉の妙高深き思い
共産との共闘拒否する連合の議長ほんとに適任なのか
拉致された横田めぐみさん同級生チャリティで「翼をください」を歌う 島根県 小玉 信惠
五二九三名党史百年ささぐる命追悼式の記事に心が潤む
与党から指導者資質をただされるこんな総理を推したのは誰 長野県 生路 聰
(選のあとに) 塩田作品の「与那国イソバ」について、選者は不明のため編集部を通じ、作者の教示をいただいた。「サンアイ イソバ」とは、中世に「実在したとされる女性會長」で「強く賢く島を統治し」外敵を退けた。作品は、その歴史の灯を継ぐ女性たちへの賛歌。

武力では平和はつくれぬ秋深む	埼玉県	小池 荘八
抑止力とは真冬の「真空地帯」なり	東京都	岡崎たかね
自決碑に一輪の菊有難き	兵庫県	岸本 守
共闘の握手交わして新年へ	神奈川県	天野三葉子
鳩急げ戦火広がる中東へ	三重県	橋本しげる
（評）一句目、武力では平和をつくることが出来ないのは、歴史が証明してきました。包括的平和の枠組みをつくる努力をするしかありません。中東戦争の現状も深刻です。	北海道	三隅 雅游
人命が羽毛の如く軽い世に	大阪府	大和 峯二
（評）ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ侵攻、多くの罪なき民の命がいとも簡単に奪われてゆく。太平洋戦争末期の惨状とダブル。瓦礫下もがく命の小さな手	埼玉県	福家 駿吉
戦争は無残に碎く人道も	東京都	稻邑 明也
動いたら支持率下がる岸田丸		

(3ページからつづく)
記念講演の後、小田憲郎中央本部
副会長が9月の中央常任理事会決
定を報告。回復基調にはあるもの
の自主目標には遠く及ばない国会
請願署名について、九州沖縄各県
毎の目標と23年度の到達数を示し、
今年こそ各県が自主目標を達成す
るよう呼びかけました。また、戦
争と暗黒政治への回帰を許さない
ために全国大会で確認した「早期
に2万人の同盟建設」という目標
を達成するために各県本部が自主
目標と現勢をリアルにみつめ直し、
目標達成めざし奮闘することを訴
えました。ついで地元長崎県本部
から「日本映画による『治安維持
法』」と題して山本薩夫監督の
『武器なき戦い』を中心とした特
別報告、また各県本部の報告と發
言があり、活動を交流しました。

那覇市で「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」

11月23日、「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」主催の「県民平和大集会」が開催され、1万人を超える参加者が集まつた。急速に進む南西諸島の軍備増強に反対する大規模集会である。

石垣島では八重山のビーチに迎撃ミサイルが配備され、本島や与那国島では戦闘車が公道を走り、隊員が集落のなかを行軍する。まさに戦争状態である。「大集会」の当日には国会会前でも、種子島、奄美大島、宮古島、石垣島、与那国島の島々の住民が集まり、政府の軍拡方針に抗議した。

逃げ場のない離島が戦場とされることへの住民の不安は大きい。集会では繰り返し「琉球弧の島々を戦場にするな」の声があがつた。いつの時代も戦争の犠牲となるのは住民である。私たちは、4人にならぬ犠牲になつた78年前の沖縄戦を絶対に繰り返させない。そのためには、戦争を起こさないだけでなく、戦争に巻き込まれない決

意と行動も必要である。沖縄は、他のへの攻撃基地になることを拒否する。

沖縄が2度と戦争の被害者にも、加害者にもならないよう全国と連帯して闘いぬく決意である。

(沖縄県本部 村山純)

11月25、26日、第68回日本母親大会in山口が開かれる。

大会in山口が開かれ、会場とオンライン視聴でのべ1万2千人が参加しました。25日の全体会では清末愛砂さんが記念講演。

「今日の運動」交流では、25人が発言、同盟山口県女性部の小川ふさ子さんは「政府は今も治安維持法犠牲者への謝罪、賠償を拒否しています。特高官僚は、戦後54年が国会議員となるなど、今も政治をゆ

事務局日誌

11月20日	11月10日	11月10日	11月10日	11月10日
会	「不届」編集会議	東北ブロック交流	女性に対する暴力撤廃	デー、イスラエル大使
会長・事務局会議	三役会議	館前で即時停戦呼びかけ	デー、イスラエル大使	デー、イスラエル大使
11月23日	11月12～13日	11月12～13日	11月12～13日	11月12～13日
同日	会長・事務局会議	東北ブロック交流	女性に対する暴力撤廃	デー、イスラエル大使
11月24～25日	常任理事会	会長・事務局会議	会長・事務局会議	会長・事務局会議
日本母親大会in山口	会長・事務局会議	会長・事務局会議	会長・事務局会議	会長・事務局会議

2023年秋季号(46号)

『治安維持法と現代』

好評発売中

治安維持法と現代



【巻頭論文】歯止めなき軍事大国日本を憂う=齋藤厚、敵基地攻撃能力の危険な企み一岸田内閣論=五十嵐仁、防衛政策の大転換=末浪靖司、「土地利用規制法」の乱用を許さない=東森英男【特別寄稿】炉心溶融汚染水の放出を中止せよ=池内了、青年たちに未来は見えているか=窪田貢、関東大震災100年と朝鮮人虐殺事件=関原正裕、【ビック対談】国家賠償法実現へ—われわれには未来がある=菱谷良一・小林 順【治安維持法強行成立100年企画】私たちの目指す国家賠償法の視座=内田博文、伊藤千代子・相沢良の青春と治安維持法=高崎裕子【学術・文化】生成AIを社会科学はどう読み解くか、独立プロと共に—山本薩夫没後40年、没後90年・宮沢賢治とシベリア出兵、映画「福田村事件」=平澤清一、映画は治安維持法をどう描いたか。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。